

くるはら

2013(平成25)年1月31日

第 48 号

発行 来原地区コミュニティ
づくり連絡協議会

編集 広 報 部



第2回神楽東京公演

先日1月18日の土曜日に安芸高田市の主催で『第2回神楽東京公演』が東京の日本橋で行われました。

今年はその公演に原田神楽団が安芸高田市の代表として出演させていただきました。

分団査閲 7月1日



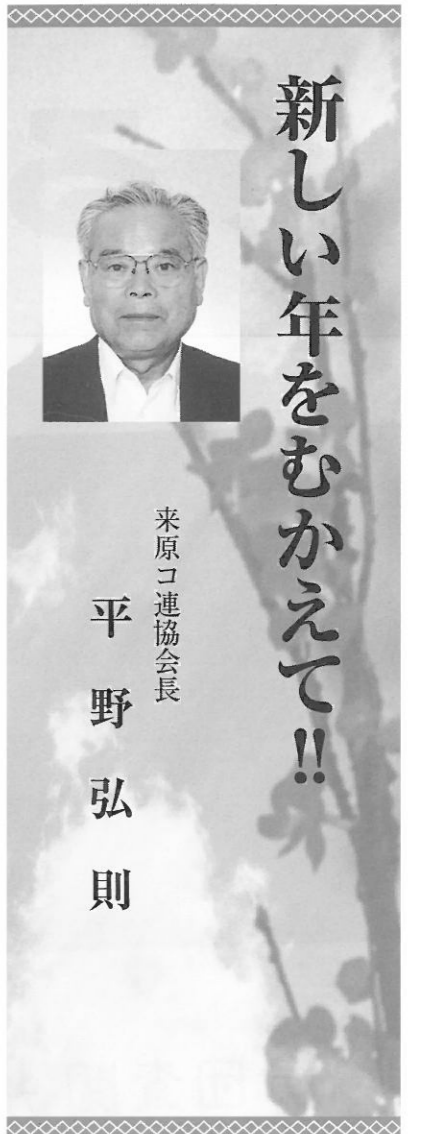
さんばい祭

5月27日

第43回高宮駅伝

12月2日





来原コ連協会長
平野 弘 則

新しい年をむかえて!!

地域の皆さま、明けましておめでとうございます。

新しい年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

平成25年が皆様方により良い年になりますよう心よりお祈り致します。

又、平素より来原コ連協が呼びかけ声かけする心豊かに安全で安心して暮らせる地域づくり活動に多くの皆様方に協力参加いただき感謝いたします。

来原コ連協も昭和53年

発足以来今日まで35年諸先輩のご指導により今日を迎えています。

待たず急激に進み、併せ一昨年3月11日起きた東北大地震と原子力発電所

の大惨事、世界的大不況による経済の低迷等々私たちの生活環境がより一層悪化しているのが現状です。

現実私たちの住むこの地域もご多分に漏れず過疎高齢化による生活環境の変化、日本の四季の美しさで表現されて来た自

然環境も地球温暖化が原因と言われ、なかでも夏場の猛暑、干魃、集中豪雨等々日本の四季の美しさと併せ自然環境が崩れて来ていることも危惧され

ます。又、地域の基幹産業とされる農業面でも国民消費者ニーズの多様化による生産、販売両面での競争力が求められ併せ猪・鹿等による鳥獣被害対策も地域内各集落内での大きな話題、課題となつて

います。いずれにせよ過疎高齢化が進めば進むほどコ

ミュニティづくりを基本とした住民自治活動。自分も努力し立ち上がる自助、昔から培われている地域の和、絆により助け合う協(共)助、そして行政を中心とした大きな力の公助。で安心して安心して心豊かに住める地域づくりが大切と痛感しています。

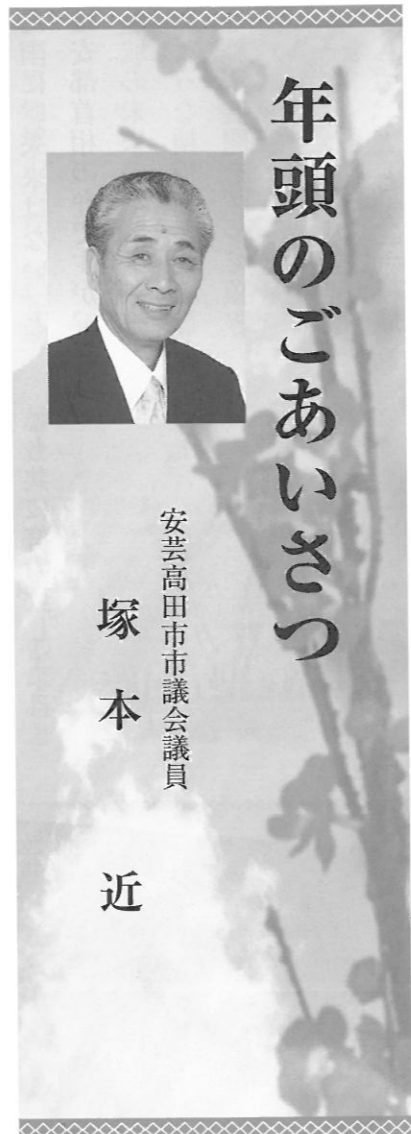
幸いにして35年の歴史と先人達によって築かれた共(協)存、共栄の精神はお互い地域の皆さんの心にあると思います。しかし押し迫る少子高齢化は地域のあり様をも変えようとしています。具

体的には少子化に伴い創立百五十年近い歴史と伝統をもつ来原小学校の統廃校問題、更には地域の活性化と埋もれた地域財産の掘り起こしをテーマに地域住民の要望から生

まれ、来原コ連協も運営協会の一員として取り組んでいる、たかみや湯の森の今後の方向づけ等々地域住民としてこれからの取り組みなければならぬ課題等々多くあると思っております。

これからの地域での一つひとつの課題を地域の皆さんの共通課題と認識し協(共)同の力と知恵で積極的に取り組み問題解決にむけ努力すること、又、人と人との出会いふれあいを大切に取組んでいかなければならないと思っております。

今年も引き続き安全で安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいきますので来原コ連協が呼びかける地域活動に参加協力と併せ提案、ご指導をお願い致し新年のごあいさつといたします。



安芸高田市市議会議員
塚本 近

年頭のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

来原地区の皆様には、夢多き初春を健やかに迎えることと心からお慶び申し上げます。また、日頃から市政に対しご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

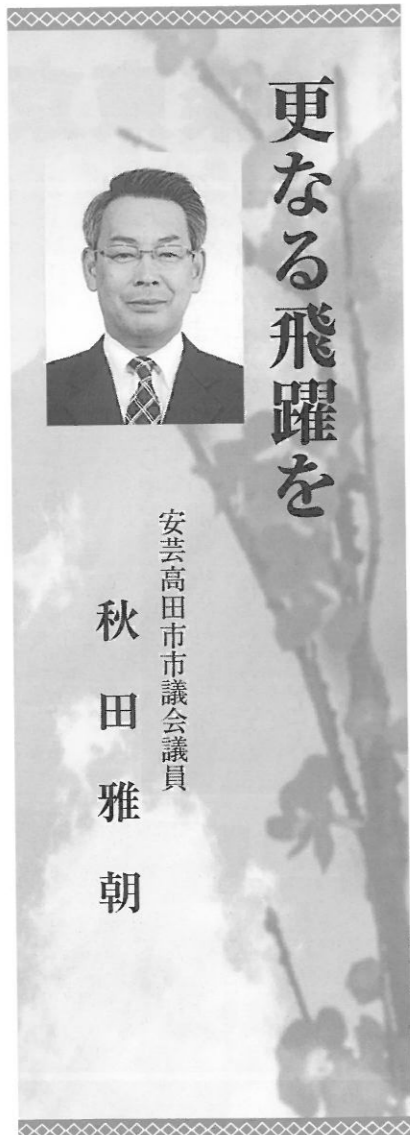
昨年の明るい話題としては、市内に練習拠点としてサンフレッチェ広島が悲願の「初優勝」達成、甲田町を本拠地とする「湧永レオリック」のハンドボールチームの日本リーグ優勝などス

ポーツ界での活躍に市民に大きな元氣と感動を与えてくれました。

一方、我が国経済は、上向きかけた景気回復の動きが足踏みし、デフレに加え、極めて異常な円高は、産業の空洞化や地域の経済、雇用の悪化を一段と加速させました。

また昨年八月には、消費税増税を柱とする「社会保障、税一体改革関連法」が成立し国民が将来にわたり安心して、希望が持てる社会の実現のためには、安定財源の確保は

必要であり、こうした厳しい社会情勢の時こそ、元氣で活力ある日本を取



安芸高田市市議会議員
秋田 雅 朝

更なる飛躍を

地域の皆様、新年おめでとうございます。

お健やかに初春を迎えられましたことを、心よ

り戻すため、切れ目のない経済対策を県、国に強く求めるものであります。

さて昨年の市議会改選により皆様のご支持により再度議会人として送り出されたこと、市議会の構成で議長の職を受けることとなり責任の重みを感じておりもとより微力ではございますが地域

の発展と市民福祉向上のため、皆様の声をだいに最善の努力をいたす所存でございます。何とぞ、今後とも格別のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。年頭のごあいさつとします。

りお慶び申し上げます。昨年は、皆様方のご支援を賜り、再度議会へ送り出して頂き、深く感謝

致しております。改選後の議会構成により、議会運営委員会委員長の職を賜りました。

来原地域の皆様、新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

来原コ連協をはじめ、地域の皆様には、いつも本校の教育活動に対してあたたかいご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

学校の玄関には、立派な門松が飾ってあります。福寿会の皆様のおかげで、今年も華やかなお正月を迎えることが出来ました。ありがとうございます。

昨年、地域の皆様方には、児童の登下校の見守りやあたたかい声かけをいただき、心よりお礼申し上げます。

私が、来原小学校に赴任

させていただき、四年目となりました。

素直で明るく、どんな事にも前向きに取り組もうとする、素晴らしい来原小の子どもたちを見てみると、その子どもたちを育てていただいている、保護者や地域に対する感謝の気持ちでいっぱいになります。

その意を強くしたのが、台風接近に伴う雨のために、順延となった運動会です。

月曜開催の運動会なので、仕事の都合でどうしても来ることができない保護者や来賓の方が多数おられると心配しておりましたが、その心配は不要でした。種目の変更はありましたが、来賓の方々をはじめ、

新年明けましておめでとうございます

安芸高田市立来原小学校長
秋政 保伸

三学期のおもな行事予定

二月十五日(金) 参観日・学級懇談

二月二十五日(月) 来原小入学説明会

三月十九日(火) 卒業証書授与式

たくさんのお保護者・地域の方々にお越しいただきました。あたたかい声援を受け、子どもたちは練習の成果を発揮することができ、満足感や成就感をもつことができましたようです。

「校長先生、来原って、素晴らしいですね。」

職員一同、来原のよさを再認識しました。

今年も、地域や保護者の皆様からいただいているご支援やご協力に甘えることなく、来原地域の素晴らしさや学校規模を生かした教育を創造し、保護者や地域から信頼される学校づくりを進めていきます。

今年もよろしくお願ひいたします。

行事の様子



地域公開



運動会



ひろしま自慢



「開かれた議会」「身近な議会」となるよう議会運営を進めて参ります。また、産業建設常任委員会委員として、地域経済の発展に向け、行政に提言を行い、皆様の負託に応えるよう鋭意努力致します。

さて、昨年末に国民が選択した新政権での幕明けとなりました。デフレ脱却など、経済再生による安定した暮らしができることが国民の期待するところだと思えます。「成長を諦めた国、成長していこうという精神を失った国に、未来はない」とは安部首相の弁ですが、地域の未来の為に、そのような精神を大切にしたい。施策展開を図って頂きたい。

一昨年の大震災を契機として、「人と人」「地域

と地域」の絆を紡ぎ直すとうとする動きが加速しています。一方で、揺らぐ社会保障など国の不安定感があり、だからこそ、地域で暮らす私達が知恵を絞り、元気を創り出す活動が必要だと考えます。

幸いに、来原地域では「来原コ連協」を中心に、住みやすいまちづくりにむけて、色々な行事、取り組みが展開されていきます。今後も地域の皆様との連携を大切に、住んで良かった来原地域となるように「来原コ連協」更なる飛躍を強く望み、私も共に努力致します。



第2回 神楽東京公演

二〇一三(平成二十五)年の新しい年を迎えました。

先日一月十八日の土曜日に安芸高田市の主催で『第二回神楽東京公演』が東京の日本橋で行われました。今年はその公演に原田神楽団が安芸高田市の代表として出演させていただきました。

八岐の大蛇の蛇胴(じゃどう)も八本新調して公演に挑みました。公演の前には広島神楽といふものが東京の人達に受け入れてもらえるかどうか心配でしたが、いざ神楽をしてみると大きな拍手で迎えてもらい最初から最後まで拍手喝采で、お客さまには喜んでいただけたのではないかと思います。

公演が終わりカーテンコールでの団長の挨拶の中で『公演の一週間前に東京にある広島県の店先で鬼の衣装を着て宣伝してましたら』その鬼は「なまはげか?」と聞かれましたと言われてました、それ聞いたときは、やはり神楽はまだまだ全国区ではないのだなと感じました。

これからも神楽を知ってもらおう為に活動し、また安芸高田市という街を幅広く知ってもらえるようアピールして地元貢献して行きたいと思えます。

この度の東京公演にあたり、安芸高田市、神楽門前湯治村、関係各位、また原田の地元の皆様、そして団員家族の皆様のおかげで東京公演が成功に終わりました、感謝致します。ありがとうございました。

原田神楽団 副団長 今田 和哉






新年あけましておめでと
うございます。本年もど
ぞよろしくお願いいたしま
す。

二〇一三年の幕が開けまし
た。毎年のことながら新し
い年を迎えるとか気持ち
が引き締まる思いがいたし
ます。今年も仲良し会の皆
様が作って下さった門松の
おかげで沢山の笑顔と出会
えることを楽しみにしてい
ます。

お正月はいかがお過ごし
だったでしょうか。ゆった
りとしたなか、親子で一緒
に遊びスキップをする
機会が多かったことと思
います。スキップが重要
であることは古くから言わ
れ、科学的にも実証されて
います。人は皮膚に心地
よい刺激をうけると、自律
神経や内分泌系にとっても
よい影響を与え、成長ホル
モンの分泌も促されるそう
です。しかし、それ以上に子
どもの心がしつかり安定し
満たされるとい意味にお
いてもスキップは重要

と言えます。よく甘えるの
が下手で素直に甘えること
ができず、親を困らせるよ
うな行動をとって関心を引
く子どもがいます。子ども
がそれとなくスキップを
求めてくるときは、まさ
に心のどこかに乾きを感じ
、「愛情」を確認している
時と言えます。子どもがい
ライラして不安定だった
り気持ちが荒れたりしている
ような時は、ギョッと大き
くしてあげてみて下さい。
親子ともに穏やかな気持ち
になれますよ。



一日保育士体験

本年度、安芸高田市の公
立保育園において保護者の
方による一日保育士体験を

実施しております。現在、
子育て支援としての対応が
各方面においてなされてい
ますが、その一つとして「親
心」の大切さが、重要視さ
れています。子どもの生活
や遊び、学びを見ながら我
が子だけではなくすべての
子どもを客観的に見るこ
とができる機会となります。

保護者の方にとって
①「子育てに対する意識の
向上が図られる。」②「大
勢の子どもとふれあうこと
で、育児に対する視野を広
め、家庭でのしつけを見直
す機会となる。」(子ども
の多様性や成長過程の理解が
生まれる) ③「地域の子
とかがわることで繋がりを
感じ地域の子育てに繋が
る。」④「父親も対象とす
ることで、父親の育児参加



啓発となる。」⑤「保育者
との信頼関係が深まり、
子どもにとってより豊かな
成育環境を築くことができ
る。」⑥「普段、子どもが
食べているものを実際に食
べてみるにより、給食
に対する理解を深めること
ができる。」など感じて
いただけます。

また、普段気づかない我
が子の様子や友達との生活
の様子がわかります。
一日保育士体験は全国的
に広がりを見せています。
親が親らしくあるため
に、失いつつある子育て文
化の親子間の継承を取り返
すために、これからも保護
者と一緒に子どもに寄り添
い、成長を支えたいです。



来女木ひまわり会

二〇一三(平成二十五)年の
新しい年を迎えました。

地域の皆様のご協力に支えられて、昨年「ひと
り会高齢者のつどい」、や「グランドゴルフ大会」、
「来女木客まつり」などの行事を行い、農産物品評
会も実施するなど着実な歩みが続けて参りまし
た。産業福祉部、文化部、体育部の役員さんが中心
になり、前向きな活動がなされています。鮮明な
写真が中心に編集されている「広報 来女木ひま
わり会」も昨年十二月には第二十九号の発行をみ
ています。その中には昨年八月に富山県で神楽を
上演発表された来女木神楽団の勇姿や子ども会、
ふれあいサロン会、老人会で明るい表情で活動中
の参加者の姿も写っています。各種行事の前後に
準備や後かたづけを黙々と行っているボランティア
の皆さんの姿も記録されています。

東日本の大震災から1年半を経過した今。人と
の繋がりの大切さを再認識しながら、今後の活動
をより活性化する必要があると思います。そのた
めに活動内容を精選し、どのように活動するか地
域住民の皆様の声を反映して、より一層発展する
ように願っております。

児玉征之助

福祉弁当の

お礼のお便りが届きました

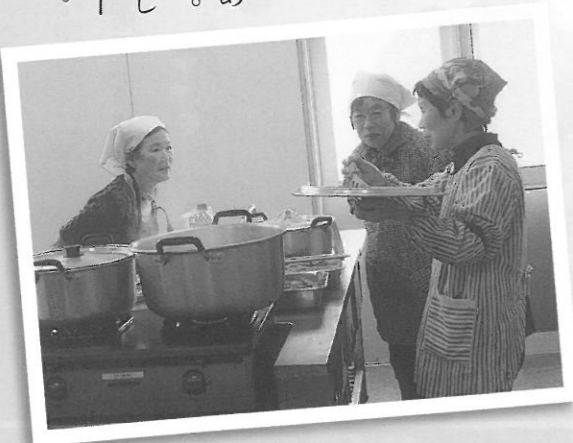
福祉部では昨年春三月九日と、秋十一月九日の二回、七十五歳以上の一
人暮らしの方、八十歳以上の二人暮らしの方を対象に福祉弁当を届けまし
た。

当日は福祉部員を中心に、女性部員有志のボランティア協力により、プ
ラタナスの調理場で一〇〇食作りました。地元の季節の食材を採り入れ、
高齢者の方に安心して食べていただけるよう、皆で献立を考え腕を振る
調理をしました。

ささやかな手作りの弁当ですが、毎回美味しいと大変喜んでいただ
いております。
昨年度も福祉教育の取組として、来
原小学校の子どもたちが書いた、心のこ
もったお手紙も一緒に添えて、お届けし
ました。

福祉弁当は、毎年「さんばい祭り」で行
われる福祉バザーの売上金を活用させて
いただいております。

昨年度は四二、九〇〇円の売上金があ
り、地域の皆様の善意に感謝申し上げます。
これからも年二回の福祉弁当をお届けし
たいと思いますので、今後とも福祉バザー
のご協力をよろしくお願い申し上げます。



この学校では、国語やさん数のほかに、話を口の形から読みとったり、声を出して話をするべんきょうもあるので、びっくりしました。

ゴンタは、前の学校では、ほかの子よりすこし聞こえにくかったこともあって、友だちとケンカばかりしていたけれど、この学校では、ケンカをしなくなってえらいなと思いました。ほかの子より自分がよく聞こえていることも分かってきました。

学園パーティーのさくひんのために、子どもたちだけでバスにのって買いました。行ったときは、すごいなおもいました。わたしは、おとうさんやおかあさんがいっしょでないといけないからです。

ゴンタたちが、みちを聞いても聞こえないふりをされたり、よびりんが聞こえにくくゴンタたちにしてん車がぶつかったり、お店の人も知らんかおをしていたので、わたしは、なんでみんな話を聞いてくれないのか、かなしい気持ちになりました。

学校にもどって、校ちょう先生のかおを見たたん、ゴンタが、「みんな聞こえる耳

をもっているのに、ちゃんと聞こうとしない。みんな心がない。」と大きな声でないやのは、本当にくやしかったからだと思いました。

ゴンタの話聞いて、みんなゴンタが大すきになりました。ゴンタがみんなのことを一生けんめい考えていることがわかったからだと思いました。

学園パーティーのじゅんぴがはじまつて、子どもたちみんなで絵をかきました。十四の心をやさしい耳で聞いてください、という気持ちをこめてかきました。

わたしは、ゴンタが友だちのいいところをたくさんの人にわかってもらいたいと思っかけてかいたと思います。

わたしも友だちとケンカをするけれど、ゴンタのように友だちのことを考えて、もっとなかなくなりたと思います。そして、こまっている人を見たら、「どうしたの。」と声をかけて、できることをしてあげたいと思います。

入選

短歌の部

来原小学校 五年生 矢野美岬さん

詩の部

来原小学校 一年生 加古山優汰さん

詩の部

来原小学校 一年生 中村百夏さん

詩の部

来原小学校 三年生 沖田竜輝さん

詩の部

来原小学校 三年生 吉川真凜さん

作文の部

来原小学校 六年生 出元あかりさん

作文の部

来原小学校 六年生 吉川真彩さん

絵画の部

来原小学校 二年生 重廣龍生さん



たかみや人権文芸賞
入選作品より
紹介します

第二十四回「たかみや人権文芸賞」の発表と表彰が、昨年の十二月七日に行われました。来原からは、次の方の作品が表彰を受けられました。

特選

☆安芸高田市長賞

詩の部

「同じ人間なのに」

来原小学校五年生 春元 芽衣

私たち生まれた時から 同じ人間
それはだれでもわかること
でも
他の人を差別する人もいる
同じ人間なのに
みんな同じ人間だから
差別のない 明るい 笑顔いっぱいの世界が
私の夢

入選

標語の部

「十四の心をきいて」を読んで

来原小学校二年生 本多 真麻

このお話は、ケンカばかりして「いたくまのゴンタが、耳の聞こえにくい子どもたちの学校にやってきて、いっしょうけんめいな先生や友だちを見ているうちに、心を

ひらいていくというお話です。
わたしは、耳の聞こえにくい子どもたちの学校のことを知らないのですが、おかあさんに教えてもらいました。



第43回 高宮駅伝 開催される!



原田Aチーム 2年ぶりの優勝!

高宮の地に本格的な冬の到来を告げる、恒例の第43回高宮駅伝競走大会が去る12月2日(日)総勢10チームが参加して開催されました。午前10時に川根をスタートし、ゴールの船木までの11区間(30.1km)でタスキが受け継がれました。

来原地域からは2チーム(原田 1チーム・来女木ひまわり会 1チーム)が出場し、日頃の練習の成果を十分に発揮した各チームの選手は、走ることへの楽しさとあわせて好成績をおさめました。また、中継所では地域役員の皆さんによる「湯茶の接待」が行われ、沿道での選手への声援とあわせ地域ぐるみの行事となりました。

チーム名	原田A	来女木ひまわり
順位	1位	6位
区間		
1	清水 雄介	泉 息吹
2	松長 将一	元村 紗由
3	高野 剛	元村 一真
4	清水 成美	高杉 里奈
5	己岡 拓海	秋國 満
6	遠野 豪紀	住吉 研志郎
7	黒田 泰生	川上 和月
8	今田 龍之介	田中 弘輝
9	宮本 辰磨	新庄 勇二
10	川森 千聖	児玉 浩
11	猪掛 真詩	田中 誠

区間賞・特別表彰の方は次のとおりです。

一般の部

- 2区 原田A 松長 将一
- 6区 原田A 遠野 豪紀

女性の部

- 1区 来女木ひまわり 泉 息吹
- 2区 来女木ひまわり 元村 紗由
- 4区 来女木ひまわり 高杉 里奈

学生の部

- 5区 原田A 己岡 拓海
- 7区 原田A 黒田 泰生
- 8区 来女木ひまわり 田中 弘輝
- 10区 原田A 川森 千聖

40歳以上の部

- 10区 来女木ひまわり 児玉 浩

特別表彰

- 60歳以上 秋國 満
- 一部優勝チーム監督賞 猪掛 真詩

区間新



原田駐在所から管内のみなさんへ

明けましておめでとうございます。

明けましておめでとうございませう。管内のみなさんには良い新年を迎えられたことと御同慶に存じます。

旧年中には、警察に対するご理解・ご協力を頂きました。篤く御礼申しあげます。

さて、私は原田駐在所に勤務する前田尚之と申します。せっかくの機会であり、ますので少し自己紹介をさせていただきます。

私は今年四一歳になる厄男です。出身は広島市で、高校卒業後十八歳で警察官になりこの四月で二十三年目を迎えます。

警察では、主に地域部門つまり交番・パトカーの業務が長く、地域住民のみなさんと接する機会が多い仕事してまいりました。

この前は広島西警察署

の交通課で勤務してました。

原田駐在所には希望して赴任してきました。

私事ではありますが、家族は妻と今年三歳になる男子の三人です。駐在所は妻が強く希望したものです。

家族も四月以降、地域のみなさんのおかげで、健康で幸せな毎日をご過ごしています。

とりわけ、息子には孫のように接して頂き、一父親としてはありません。この場を借りてお礼申し上げます。

私は警察官として駐在所勤務に臨んで、まず地域住民のみなさんとの絆を大事にしていきたいと考えています。

一世帯ずつ訪問する巡回連絡などがその業務となります。

ます。

また、パトロールの際にも、声を掛けさせて頂いて

おりますが、まだまだ若年で経験が浅いため、中々すべてのみなさんと接することができていません。大変心苦しく思います。

地域住民のみなさんには、遠慮なく駐在所に寄って頂いて、色々な話をしたいと願っています。

みなさんの意に必ずしも叶っていないと思いますが、少しでも頼られる駐在所となるよう、努力いたしますので、これからもよろしくお願いたします。

最後になりましたが、地域住民のみなさんのご健康とご多幸を祈念して、新年の挨拶に代えさせていただきます。



2012年 スナップ

子ども神楽



さんばい祭



花いっぱい運動



消防 分団査閲



たかみや湯の森
土用夜市



平和の灯の
つどい



来原三二駅伝



篤志お礼

平成24年3月16日に亡くなられた吉川明さんのご遺族から、コ連絡協に対し篤志を頂きました。

☆コ連絡等行事予定

- 3/9 高宮中卒業式
- 3/19 来原小卒業式
- 3/24 くるはら三二駅伝競走大会
- 3/26 くるはら保育園卒園式
- 4/5 くるはら保育園入園式
- 4/7 高宮中入学式
- 4/8 来原小入学式

編集後記

▼広報くるはら第四十八号をお届けします。遅くなりましたがご覧ください。

▼一昨年の東日本大震災・原子力発電所大事故以来、世界的に自然災害への備え、原子力平和利用と廃棄物への対応等々、原子力に大きな課題が投げかけられたと思います。

▼原子力平和利用で一番社会貢献が高く目玉と思っていた電力供給が、原子力発電所事故後、現在日本国内

では十七施設のなかで一カ所稼働の状況で、高騰する化石エネルギーから、自然に優しい循環型エネルギーへの転換が求められています。

▼今、地域や各家庭で進められ話題となっているのが、4月より有線放送に変わり事業開始される情報伝達施設お太助フォンです。本格利用は今年度、八千代町・吉田町・美土里町・高宮町、次年度、甲田町・向原町と全市での利用となり、光ファイバーの高度通信施設により、高齢化社会が進むなか市民全体の情報交換・伝達がより活性化し、安全で安心して暮らせる地域社会となることを祈念します。

▼地域の高齢化が進めばより一層隣近所との絆が大切と思われま。お太助フォンの上手な利用活用により、絆がより強くすることを望みます。

—高齢化、絆と優しさ求む声—

▼広報部では地域の皆さんからの身近な情報・記事・写真等々の投稿をお待ちしています。

